

# ちゅうばす通信

中勢バイパスの工事状況と季節の話題を中心に地域の皆様にお伝えして来ましたが「ちゅうばす通信」も早3年となりました。これまで毎月発行してききましたが、今後は四半期毎（春夏秋冬）の発行とさせていただきます。その分、紙面の充実を図りたいと考えていますので、引続きのご愛読と工事へのご理解・ご協力をお願いいたします。それでは、あらためて事業紹介と現在の工事状況をお知らせします。

## 事業紹介

### 国道23号中勢バイパス【地域の発展、活力ある未来へ】

中勢バイパスとは・・・

路線名 : 一般国道23号  
 事業箇所名 : 中勢バイパス  
 事業区間 : 鈴鹿市北玉垣町～松阪市小津町  
 延長 : 33.8 km  
 構造規格 : 3種1級  
 設計速度 : 80km/h  
 (暫定60km/h)

一般国道23号は、三重県の南北方向を結ぶ幹線道路で産業観光における大動脈として、また地域の生活道路として、重要な役割を果たしています。

しかし、現在の国道23号は多方面から交通が集中することにより主要交差点では渋滞が発生しています。

中勢バイパスは、鈴鹿市を起点として、津市を經由し松阪市に至るバイパスで、国道23号の渋滞解消、交通安全の確保と地域経済の発展を支援するため、整備を進めていきます。



## 工事状況

現在、平成19年4月に開通した松阪市小津～嬉野の以北、津市高茶屋小森町（国道165号）までの区間を平成23年度の開通を目指し重点的に工事を行っています。

また、渋滞緩和を目的に津市納所交差点（津インター付近）の立体化や鈴鹿市稲生地区での工事を継続しています。



★国道165号～県道を切り回しての施工状況

# 街の紹介

(第1回)

第1回目は「津城」と「伊勢上野城」そして「津の海」の紹介です。



## 《津城》

織田信包（信長の弟）が1580年（天正8年）に津城を創築しました。

信包は信長が伊勢へ勢力を伸ばしてきたとき長野氏の養子に政略で入り、自身の居城として1570年に着工し、1580年に津城を創築しました。

本丸を中心に丸を置き、幾筋かの河流を城の外堀に取り入れたもので、低湿地ながら防御には堅固なお城だったそうです。



豊臣時代には織田信包が転封となり替わって富田氏が城主となり、1600年（慶長5年）の関ヶ原合戦では城主の富田信高が徳川方に付いたため、石田三成方3万の軍勢に包囲され城下町民も多く城に入って3日間の籠城戦を行いました。この時、信高夫人が鎧兜に身を包み敵陣に討って出て奮戦したと伝えられています。しかしこの時、城、城下町とも戦火を受けてしまいました。

その後、藤堂高虎が四国伊予の今治（愛媛県）から移封、1611年（慶長16年）に大規模な改修を行い、北側の石塁を高く積み直し、その東北と西北の両すみに三重の櫓をつくりました。

また、城の周囲に武家屋敷をつくる一方で、伊予から連れてきた町人たちを岩田川の南に住まわせて伊予町をつくり、さらに高虎は、参宮街道を城下に引き入れたり、城の東に堀川を切り開いたりして津の基礎づくりを行いました。

2代藩主高次はそれをもとに城下を整備、明治維新まで津は32万石の城下町として栄えてきました。明治になっても町はほとんど旧城下町のままでしたが、明治の終わり頃になって外堀が埋められ、新しい道や町が作られるようになってきました。

現在では、本丸・西の丸・内堀の一部を残すのみとなりましたが、復興された角櫓の三層の白壁に老松がはえ、苔むす石垣とともに昔を偲ぶことができます。

## 《伊勢上野城》

織田信包が津城の仮城として、1570年（元亀元年）分部光嘉（みつよし）に築かせ、信包が津城に移った後、津城の出城となっていました。

来年の大河ドラマの主人公「江（ごう）」が、9歳まで過ごしたお城でもあります。

◆江（ごう）略歴 元亀4年/天正元年（1573年）～寛永3年（1626年）



江は、近江国小谷城主・浅井長政と、織田信長の妹・お市の方の三女として生まれました。歴史上名高い“浅井三姉妹”の末妹です。

江の生後間もなく、父・長政は信長に滅ぼされ、母・市は柴田勝家に嫁ぎましたが、勝家は秀吉に敗れ、市も自刃してしまいます。

秀吉にひきとられた三姉妹のうち、江が最初に結婚しましたが、夫・佐治一成が秀吉の敵対陣営についたために、無理やりに離縁させられることになりました。

次の夫・羽柴秀勝（秀吉の甥）は、結婚後まもなく出陣して朝鮮で病死。三度目の結婚は、秀吉の最大のライバル徳川家康の息子・秀忠で、のちの徳川二代将軍。娘・和子は後水尾天皇に嫁ぎ、長男・家光は三代将軍となりました。

## 《津の海》

白砂青松で有名な津の海は、県立自然公園に指定され約12キロに及ぶ連続した海岸線があり、春から夏のシーズン中は潮干狩りやたてぼし・海水浴などに大勢の家族連れが訪れます。

◆潮干狩り

遠浅の御殿場浜では潮干狩り。小さな子供からお年寄りまでが水と戯れながら貝探し。あちこちから家族の歓声が聞こえます。潮干狩りは御殿場の春から夏の風物詩です。

◆楯干し

津藩主藤堂公が浜あそびとして始められた楯干し。御殿場海岸ではこの楯干しを実際に楽しむことができます。見渡すかぎりの干潟に網を仕掛け、潮がひいたらそこに入った魚たちを手づかみに。時を忘れて興じる人たちが海岸は大にぎわいです。



平成21年度 23号稲生北地区道路建設工事

場所打函渠の施工状況



現在、場所打函渠が1箇所完了したところです。

市道三日市稲生線



切廻し道路

市道三日市稲生線の東側に切廻し道路をつくります。  
現在、切廻し道路をつくる準備をしています。

6月の予定工程

施工者 三重農林建設(株)  
稲生作業所  
TEL:059-373-4901  
  
現場代理人 丹所 昇

場所打函渠  
切廻し道路

1 10 20 30

完了



平成21年度 23号納所道路建設工事

県道との交差点より北側



至鈴鹿方面  
(北)

補強土壁工

県道を越えていく橋へつながる部分の両側の擁壁を作って、間に盛土をしているところです。

県道との交差点より南側



中勢バイパス  
(現在通行中のところ)

至松阪方面  
(南)

側道

→西部中学校

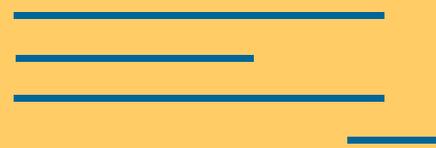
中勢バイパスの立体化のときに南側からおりてくる道路となる部分です。現在道路際の水路をつくっています。

6月の予定工程

施工者 (株)アイケーディ  
TEL:059-225-7117  
  
現場代理人 後藤 博伸  
監理技術者 濱村 文紀

道路土工  
排水構造物工  
舗装工  
防護柵工

1 10 20 30



平成20年度 23号高茶屋道路建設工事

仮棧橋部 施工状況



国道165号北側で掘削を始めました。

現場全景



現場の全景です。工事起点側から松板方面を撮影しています。国道165号,県道を切回しながら工事を進めます。

6月の予定工程

施工者 清水建設(株)  
TEL:059-238-3133

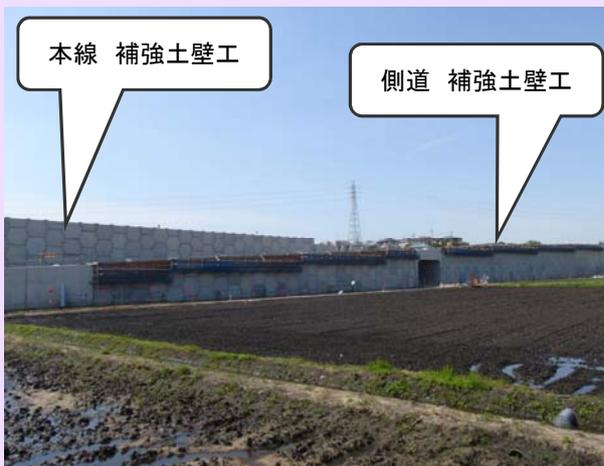
現場代理人 太田 和政  
監理技術者 竹原 昭雄

場所打函渠工  
U型擁壁工



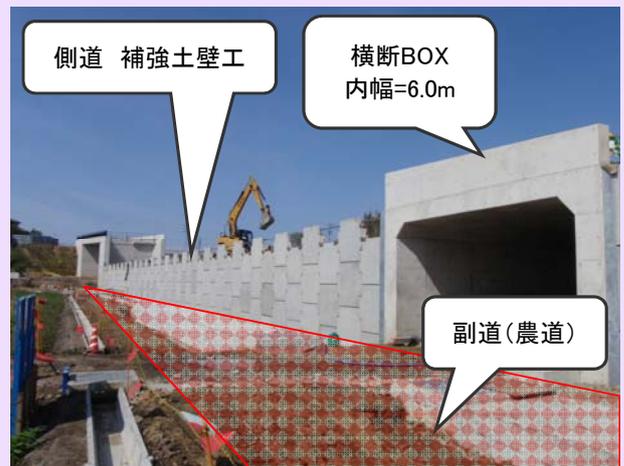
平成20年度 23号木造道路建設工事

東側



側道部補強土壁の天端コンクリートが終わり次第、本線部の盛土及び側溝に着手していきます。

西側



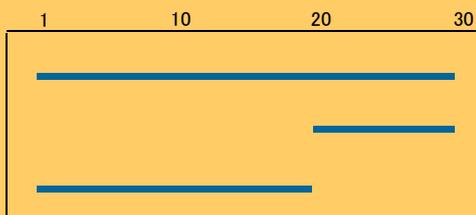
側道部の補強土壁を施工中です。その後、本線の盛土及び補強土壁、L型擁壁の施工に着手していきます。

6月の予定工程

施工者 (株)加藤建設  
TEL:059-255-5478

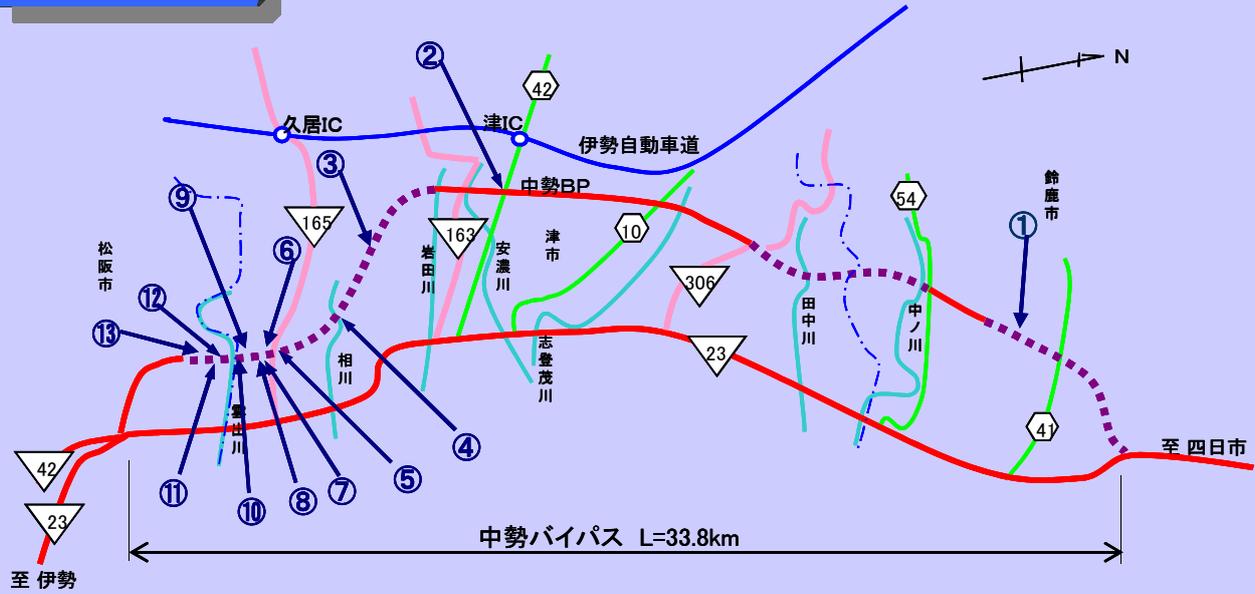
現場代理人 田島 弘貴

補強土壁工  
路床盛土工  
L型擁壁工





## 施工箇所見取図



### 【工事一覧表】

No	工事名	工期	工事内容	施工者
①	H21 23号稲生北地区道路建設工事	~H22.7.5	※ ホックスカルパート工・擁壁工 1式	三重農林建設(株)
②	H21 23号納所道路建設工事	~H22.6.18	※ 道路土工・擁壁工・舗装工 1式	(株)アイケーディ
③	H21 23号神戸2号橋下部工事	~H23.10.31	道路土工・橋梁下部工 1式	(株)土生組
④	H21 23号相川高架橋下部工事	~H23.11.30	道路土工・橋梁下部工 1式	丸亀産業(株)
⑤	H20 23号高茶屋道路建設工事	~H23.3.10	道路土工・カルパート工・擁壁工 1式	清水建設(株)
⑥	H19 23号高茶屋地区道路建設工事	~H22.6.1	※ 道路土工・カルパート工・擁壁工 1式	(株)間組
⑦	H21 23号高茶屋南道路建設工事	~H23.6.30	道路土工・擁壁工・RC橋脚工 1式	(株)松本組
⑧	H20 23号木造道路建設工事	~H22.6.30	※ 道路土工・カルパート工・擁壁工 1式	(株)加藤建設
⑨	H21 23号木造北道路建設工事	~H23.3.10	道路土工・地盤改良工・擁壁工 1式	矢作建設工業(株)
⑩	H21 23号高茶屋木造道路建設工事	~H23.7.29	道路土工・放流管築造工 1式	松阪土建(株)
⑪	H20 23号舞出避益橋鋼上部工事	~H23.3.10	橋梁上部 1式	日立造船鉄構(株)
⑫	H21 23号舞出中道路建設工事	~H22.6.15	※ 道路土工・地盤改良工・擁壁工 1式	丸亀産業(株)
⑬	H21 23号新屋庄地区道路建設工事	~H22.6.14	※ 道路土工・地盤改良工・擁壁工 1式	松阪土建(株)

※印は工期延長予定

ご覧になったご感想や  
ご意見がございましたら  
右記の連絡先まで  
お寄せ下さい。

### 【連絡先】

〒510-0234  
鈴鹿市江島本町39-8  
三重河川国道事務所 鈴鹿国道出張所  
tel 059-387-8470 fax 059-387-8471  
または  
〒514-0817  
津市高茶屋小森町1791-1  
中勢BP工事連絡協議会事務局(清水建設(株)内)  
tel 059-238-3133 fax 059-235-3134

本紙で紹介している工事の「今月の予定工程」は、  
天候その他の事情により変更となる場合がありますので  
あらかじめご了承願います。